



## 東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2015~2016年度クラブテーマ  
会長 橋本 年男

「輪になろう、つなげる想い、つながる奉仕」  
Build friendship, Join a heart, Service together.

●本日の例会/ 2016年 2月 12日 第1383回  
卓話: 夜間例会・ファミリーデイ(18:00~)  
ザ・ビリトルズによる演奏

●前回報告/ 2016年 2月 05日 第1383回例会

卓話: 「内外景気の見通し: 不確実性高まる世界経済、成長の壁にぶつかる日本経済」  
クレディスイス証券マネージングディレクターチーフエコノミスト 白川 浩道 氏



紹介者: 穂苅会員

親睦活動委員会: (浦平サブリーダー)

2/12 の夜間例会・ファミリーデイについてご連絡いたします。たくさんのご家族の方にご出席いただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

広報委員会: (浦平リーダー)

「ロータリーの友」2月号の紹介です。2点あります。  
①縦組みP28に当クラブ橋本会長が書かれました「奉仕のつどい」の記事が掲載されました。青少年が障がい者に対する意識を高め、バリアフリーの重要性を高める事、2020年のパラリンピック開催を盛り上げる事の2つの目的が達成された事が記載されております。  
②縦組みP18卓話の泉にある「皮膚とアンチエイジング」です。目で見て病気を探る「身体診断学」が世界のスタンダードなっているとのこと。皮膚科では光老化という概念があり同じ年でも若く見える人と老けて見える人がいるが、若々しく見える人のほうが長生きすることです。

親睦活動委員会: (長谷川サブリーダー)

3/1 火曜会についてご連絡いたします。テーマは「今後の火曜会のあり方について」です。よろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告:

2/23, 24は地区大会です。2日目の2/24に御参加いただきたいと思います。午前9:00~の本大会ではクラブ紹介がありますので、早い時間ではありますですが御参加いただければと思います。よろしくお願ひします。

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1354 / 2016. 02. 12

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

慶事披露:

誕生日祝い

鈴木 康介 君(2月 20日)



(他)

土屋 東一 君(2月 13日) / 藤井 宏章 君(2月 26日)



2月 5日 14件 28,000円

累計 917,566円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

橋本年男/白川様本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。月曜~火曜に福山赤坂RCに行って卓話をします。吉田さんニコニコご苦労様です。清水實/受付にパンフを置いていたコンサートが2月11日です。多くの方にチケット買っていただきましたが、忘れないようにしてください。石井謙次/河邊さん先日の麻布RC卓話お疲れ様です。吉田先輩ニコニコご苦労様です。小林博茂/待ってました。白川さんの卓話。穂苅裕久/白川さん、本日の卓話たいへん楽しみにいたしております。どうぞ宜しくお願ひいたします。佐藤仁/白川様楽しみにしていました。吉田様ニコニコとお疲れさまです。河邊幸夫/先日の麻布RCの卓話ではたくさんの応援団ありがとうございました。大変助かりました。熊本誠司/吉田さんニコニコお疲れ様です。石井達/みなさま寒いですね。風邪をひかないように心掛けましょう。長谷川毅/朝の地震ビックリポンでした。白川様の卓話楽しみにしております。藤井万博/今朝の地震の時、裸でしたので動搖してしまいました。的場隆光/白川さん卓話楽しみにしています。鈴木康介/今日もみなさんがニコニコすごせますように!!吉田用親/たくさんのニコニコありがとうございました。

出席報告: 会員 49名 / 出席 31名 欠席 18名

ゲスト: 白川 浩道(卓話) 計 1名 (敬称略)

●次回予告 / 2016年 2月 19日 第1384例会

卓話: 「IT技術が変貌させる日本の株式市場」

株式会社シーエムディーラボ

代表取締役 尹熙元 氏

# ロータリーの公式ロゴを実践

ガバナーエレクトが国際協議会から帰国し、各地区ではP E T S（会長エレクト研修セミナー）が開催され始めることでしょう。各クラブでも、新年度を迎える準備が本格的になってきたころかと思います。

11月号の本欄に「何度も恐縮ですが、ロータリーの公式ロゴ」というタイトルで、ロータリーのロゴについてご紹介したところ、予想より多くの反響があり、驚きました。そのほとんどが「初めて知った」というものでした。

新しいロゴについては、これまで『友』誌で何度も掲載してきました。地区のセミナーでも何度も紹介されていると思います。国際ロータリー（R I）のウェブサイトにも詳細が掲載されています。その時はわかっていても、「では新しい年度から」と思つただけで次の担当者に引き継がれないままなので、今年度の担当者が知らなかった、といったケースが多いのではないかでしょうか。

そこで、今回は次年度の担当者の皆さんに、あらためてロゴについてご紹介します。前回も書きましたように、使用方法の詳細につきましては、2015年1月号横組みP 13～15をご参照ください。具体例を含めて、より詳細に知りたい方は、R Iのウェブサイトの「My Rotary」の「役立ツツール」にある「ブランドリソースセンター」をクリックし、「ガイドライン」から『ロータリーを生き生きと表現しよう』という冊子をダウンロードしてください。

この「ブランドリソースセンター」には、クラブや地区でロゴを使用する時に役立ツツールがいろいろと用意されています。

まず、クラブ名を入れた公式ロゴを作成することができるツール。「ブランドリソースセンター」トップの「ガイドライン」の隣にある「ロゴ」をクリックして中に入ります。ここからは、公式ロゴ、誇りのシンボル、ロータリー財団のロゴ、インターラクトやローターアクトなどのロゴをダウンロードすることができます

が、テンプレートもあり、クラブ名入りのロゴを作成できるようになっています。

トップページ「ロゴ」の隣にあるのが「資料」。ここをクリックして中に入ると、ロータリーのロゴ入りの便箋や名刺などを作成するためのテンプレートがあります。イベントなどに利用できるチラシやパワーポイント、クラブを紹介するためのパンフレットのテンプレートを利用することもできます。

さて、ここに最近加わったのが、ロータリーの旗をつくるためのツールです。地の色が白いものと青いもの、公式ロゴを使ったものと誇りのシンボルを使ったものと、数種類のデータが入っています。

ただし、ここで一つお気をつけください。以前にもご紹介しましたように、誇りのシンボルは単独で使うことはできません。従って、こここのテンプレートにある誇りのシンボルを使って旗をつくる時は、必ず「公式ロゴ」のタグをつけてください。詳細は、最初にご紹介した『ロータリーを生き生きと表現しよう』に紹介されています。

それぞれのクラブの活動が、ロータリーの活動として結びつき、ロータリーのイメージ向上に資するよう、ロゴ、そしてパンフレットやホームページに使用する色など、この機会に見直しましょう。

『友』編集長 二神 典子



（「ロータリーの友」2016年2月号より）